

群馬県出土獣骨データベース

— (財) 群馬県埋蔵文化財調査事業団編 —

檜崎修一郎

はじめに

1. 報告者

2. 動物の足跡

3. 出土獣骨

— 論文要旨 —

(財) 群馬県埋蔵文化財調査事業団〔以下、群埋文〕は、昭和53(1978)年に設立され、平成15(2003)年に設立25周年を迎えた。その間、多くの遺跡を発掘し、獣骨も多数出土している。しかしながら、過去にそのまとめが発表されたことは無い。そこで、群埋文が平成17(2005)年3月までに出版した報告書354冊を調べ、出土獣骨及び動物の足跡について、データベースを作成した。354冊の報告書の内、獣骨あるいは動物の足跡の記載が認められたものは、64冊であり、この中に68編の報告が掲載されている。

報告者は、元群馬県立大間々高校の宮崎重雄〔古生物学〕(35編)・元群馬県畜産試験場の大江正直〔獣医学〕(16編)・本報告者で群埋文の檜崎修一郎〔人類学〕(11編)・金子浩昌〔動物考古学〕(3編)の4人が主である。

動物の足跡は、全部で7例あり、3目4種が認められた。それらは、ウマ(奇蹄目)が4遺跡・ウシ(偶蹄目)が1遺跡・ニホンジカ(偶蹄目)が1遺跡・キジ(キジ目)が1遺跡であった。

出土獣骨は、5目14種が認められた。それらは、ウマ(奇蹄目)が51遺跡・ウシ(偶蹄目)が20遺跡・ニホンジカ(偶蹄目)が12遺跡・ニホンイノシシ(偶蹄目)が9遺跡・ニホンノウサギ(ウサギ目)が2遺跡・オオカミ(食肉目)が2遺跡・イヌ(食肉目)が10遺跡・イエネコ(食肉目)が1遺跡・ホンドキツネ(食肉目)が1遺跡・ホンドタヌキ(食肉目)が3遺跡・ツキノワグマ(食肉目)が2遺跡・ニホンイタチ(食肉目)が1遺跡・ニホンカワウソ(食肉目)が1遺跡・ニホンザル(靈長目)が2遺跡であった。

分析の結果、群埋文が調査した遺跡から出土した獣骨は、上位からウマ(51遺跡)・ウシ(20遺跡)・ニホンジカ(12遺跡)・イヌ(10遺跡)・ニホンイノシシ(9遺跡)という結果となり、その他の獣骨は事例が少ないことが判明した。

将来的に、群馬県内の市町村出版の報告書に記載された出土獣骨もまとめたいと考えている。

キーワード

対象時代 弥生時代～近代

対象地域 群馬県全域

研究対象 出土獣骨、動物の足跡、データベース

はじめに

出土獣骨の研究は、動物考古学という新しい学問分野として、近年、確立しつつある。これは、先駆者である元早稲田大学理工学部の直良信夫 [1902-1985] とその後継者である元早稲田大学文学部の金子浩昌、並びに動物考古学を継承し発展させている、国立歴史民俗博物館の西本豊弘と独立行政法人奈良国立文化財研究所の松井章におうところが大きい。直良信夫は、古生物学者として、幅広く人骨及び獣骨を扱い、その膨大な業績の一部は、『日本産狼の研究』(直良、1965)・『古代遺跡発掘の脊椎動物遺体』(直良、1972)・『古代遺跡発掘の家畜遺体』(直良、1973)・『日本馬の考古学的研究』(直良、1984)等でうかがうことができる。

動物考古学として国内で初めての入門書である金子浩昌による『貝塚の獣骨の知識』が1984年に出版(金子、1984)され、その後、動物考古学の全国的なまとめとして、国立歴史民俗博物館が研究報告を2冊刊行している(国立歴史民俗博物館編、1991・1992)。また、国立歴史民俗博物館の西本豊弘研究室を事務局として、動物考古学研究集会が1995年からほぼ毎年開催され、さらに、雑誌「動物考古学」が1993年から2004年までに21号がすでに発行されている。前出の西本豊弘及び松井 章による動物考古学の教科書も『考古学と自然科学②: 考古学と動物学』として1999年に出版されている(西本・松井、1999)。

(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団[以下、群埋文]は、昭和53(1978)年に設立され、平成15(2003)年に設立25周年を迎えた。当事業団は、これまでに、上越新幹線・北陸新幹線・関越自動車道・上信越自動車道・北関東自動車道等の大きな建設に伴う大規模な発掘調査を行ってきており、都道府県レベルの事業団としては大阪府と並ぶ規模である。それに伴い、出土獣骨も多数出土している。ところが、前出の「国立歴史民俗博物館研究報告」第42集に、西本豊弘と松井 章によりまとめられている動物考古学文献目録には、出版年の1989年以前の文献が多数掲載されているが、群馬県の報告書については皆無である(西本・松井、1992)。

これまでに、群馬県出土獣骨の内、牛馬については元群埋文の考古学研究者の坂井 隆が県内の23遺跡を取り上げてまとめている(坂井、2004)。

今回、群馬県出土獣骨のデータベースを作成するにあたり、まず、第1弾として、群埋文が2005年3月までに出版した354冊の報告書の中で、獣骨あるいは足跡の記載があるものを調べまとめた。354冊の報告書中、獣骨あるいは足跡の記載があったものは、64冊であり、この中に68編の報告が掲載されている。なお、将来的に、群馬県内の市町村出版の出土獣骨記載もまとめたいと考えている。

1. 報告者

報告者の分析で、連名の報告は筆頭報告者のみとした。報告数を分析すると、宮崎重雄の35編と大江正直の16編に、本報告者である樋崎修一郎の11編と金子浩昌の3編が続く。その他、群埋文の現職及び元職の、石守 晃・井上昌美・齋藤英敏が1編ずつ報告している。

この中で、宮崎重雄は、元群馬県立大間々高等学校に勤務していた古生物学者である。1982年の初出から現在まで、出土獣骨の報告を多数担当している。この宮崎は、その他、出土人骨についても長い間、多くの報告を行っている。宮崎の特徴は、古生物学者として、人骨と獣骨を一緒に報告する事例が多いことである。また、大江正直は元群馬県畜産試験場の場長をつとめた獣医師である。宮崎重雄と同じく、1982年の初出から2000年まで、出土獣骨特に馬(ウマ)と牛(ウシ)について多数報告している。大江の報告数は、数こそ宮崎に比べて少ないものの、「上野国分僧寺・尼寺中間地域(4)」(大江他、1990)や「中里見遺跡群」(大江、2000)のように、膨大な数の獣骨を長大な頁をさいて詳細に報告していることが特徴である。本報告者の樋崎修一郎は、人類学を専門とするが、頼まれて獣骨も報告している。さらに、金子浩昌は、元早稲田大学文学部に勤務していた、動物考古学者である。主に、全国の縄文時代の縄文貝塚出土獣骨が専門であるが、縄文貝塚が極端に少ない群馬県では、弥生時代の遺跡である新保遺跡及び新保田中村前遺跡出土獣骨を一手に引き受けたまとめている。日本全国の出土獣骨を多数担当していることは有名であり、膨大な業績目録もまとめられている(金子浩昌著作目録を刊行する会編、1999・2004)。

2. 動物の足跡

(1) 奇蹄目 PERISSODACTYLA

①ウマ [*Equus caballus*]

ウマの足跡の出土例は、4遺跡あり、白井大宮遺跡(宮崎、1993b)・白井北中道吹屋犬子塚吹屋中原遺跡(宮崎、1996c)・白井遺跡群(井上・宮崎、1997)・西長岡南遺跡(大江、1997)から発見されている。

(2) 偶蹄目 ARTIODACTYLA

①ウシ [*Bos taurus*]

ウシの足跡の出土例は、1遺跡のみで、日高遺跡から発見されている(大江、1982b)。

②ニホンジカ [*Cervus nippon*]

シカの足跡の出土例は、1遺跡のみで、神戸岩下遺跡から発見されている(大江、2000a)。

(3) キジ目 GALLIFORMES

①キジ [*Phasianus colchicus*]

キジの足跡の出土例は、1遺跡のみで、神戸岩下遺跡から発見されている(大江、2000b)。

3. 出土獸骨

出土獸骨は、奇蹄目のウマ、偶蹄目のウシ・ニホンジカ・ニホンイノシシ、ウサギ目のニホンノウサギ、食肉目のオオカミ・イヌ・イエネコ・ホンドキツネ・ホンドタヌキ・ツキノワグマ・ニホンイタチ・ニホンカラウソ、靈長目のニホンザルに分けて調べた。また、出土例が多い、ウマ及びウシについては、出土遺跡の地図を示した。

(1) 奇蹄目 PERISSODACTYLA

①ウマ [*Equus caballus*]

ウマは、約6,000年前に南ヨーロッパで家畜化され、約1,600年前の古墳時代に日本へ持ち込まれたと推定されている（田名部、1995）。

ウマの出土例は、51遺跡あり、日高遺跡（大江、1982a）・三ッ寺III遺跡（大江、1985）・下佐野遺跡（宮崎、1986）・下東西遺跡（大江、1987）・三ッ寺I遺跡（宮崎、1988a）・田端遺跡（大江、1988）・上植木壱町田遺跡（宮崎、1988b）・上栗須遺跡（宮崎、1989c）・三ッ寺II遺跡（大江、1991）・熊野堂遺跡（宮崎、1991a）・上野国分僧寺尼寺中間地域遺跡（大江他、1990）・国分境遺跡（大江、1990）・有馬条里遺跡（宮崎、1991b）・融通寺遺跡（宮崎、1991c）・内匠日影周地遺跡（宮崎、1992）・下川田下原遺跡（宮崎、1993a）・神保富士塚遺跡（宮崎、1993c）・南蛇井増光寺遺跡（宮崎、1993d）・元総社寺田遺跡（宮崎、1993e）・白井二位屋遺跡（宮崎、1994a）・二之宮宮下東遺跡（宮崎、1994b）・二之宮宮東遺跡（宮崎、1994c）・行力春名社遺跡（宮崎、1994d）・下田川久保遺跡（大江、1995）・二之宮宮下西遺跡（宮崎、1994e）・安養寺森西大館馬場阿久津宮内遺跡（宮崎、1995a）・小角田前遺跡（大江、1995b）・中江田ハッ繩遺跡（宮崎、1995b）・白井南中道遺跡（宮崎、1996a）・上栗須寺前遺跡（宮崎、1996b）・元総社寺田遺跡（宮崎、1996d）・多比良追部野遺跡（石守、1997）・矢田遺跡（宮崎、1997a）・白倉下原天引向原遺跡（宮崎、1997b）・御布呂芦田貝戸遺跡（大江、1998）・白井遺跡群（宮崎、1998a）・田篠塚原遺跡（宮崎、1998b）・和田山天神前遺跡（宮崎、1999a）・小八木志志貝戸遺跡（宮崎、1999b・2001a）・中里見原遺跡（大江、2000c）・元総社西川遺跡（檜崎、2001）・上滝榎町北遺跡（齋藤、2002）・鶴光路榎橋遺跡（檜崎、2002a）・宿横手三波川遺跡及び西横手遺跡群（檜崎、2002b）・下増田越渡遺跡（宮崎、2003）菅谷石塚遺跡（檜崎、2003a）・稻荷塚道東遺跡（檜崎、2003c）・元総社西川塚田中原遺跡（檜崎、2003d）・荒砥宮田遺跡（檜崎、2004）・石原東遺跡（檜崎、2005a）・塚田村東塚田中原引間松葉遺跡（檜崎、2005b）から出土している。

(2) 偶蹄目 ARTIODACTYLA

①ウシ [*Bos taurus*]

ウシは、約9,000年前に西アジアで家畜化され、約1,600

年前の古墳時代に日本へ持ち込まれたと推定されている（田名部、1995）。

ウシの出土例は、20遺跡あり、日高遺跡（大江、1982b）・下東西遺跡（大江、1987）・三ッ寺I遺跡（宮崎、1988a）・田端遺跡（大江、1988）・三ッ寺II遺跡（大江、1991）・熊野堂遺跡（宮崎、1991a）・上野国分僧寺尼寺中間地域（大江他、1990）・国分境遺跡（大江、1990）・元総社寺田遺跡（宮崎、1993e）・白井二位屋遺跡（宮崎、1994a）・二之宮宮下東遺跡（宮崎、1994b）・新保田中村前遺跡（金子、1994b）・箱田古市前遺跡（大江、1995a）・小角田前遺跡（大江、1995b）・白井南中道遺跡（宮崎、1996a）・元総社寺田遺跡（宮崎、1996d）・矢田遺跡（宮崎、1997a）・田篠塚原遺跡（宮崎、1998b）・小八木志志貝戸遺跡（宮崎、2001ab）・鶴光路榎橋遺跡（檜崎、2002a）から出土している。

②ニホンジカ [*Cervus nippon*]

ニホンジカは、在来種で、縄文時代の貝塚からはイノシシと並んで多数発見されている。

ニホンジカの出土例は、12遺跡あり、日高遺跡（宮崎・木崎、1982）・新保遺跡（金子、1986）・下東西遺跡（大江、1987）・三ッ寺I遺跡（宮崎、1988a）・上野国分僧寺尼寺中間地域（大江他、1990）・新保田中村前遺跡（宮崎他、1993；金子、1994ab）・白井二位屋遺跡（宮崎、1994a）・二之宮宮下東遺跡（宮崎、1994b）・白井南中道遺跡（宮崎、1996a）・元総社寺田遺跡（宮崎、1996d）・小八木志志貝戸遺跡（宮崎、1999b・2001a）・久々戸遺跡（檜崎、2005c）から出土している。

③ニホンイノシシ [*Sus scrofa leucomystax*]

ニホンイノシシは、在来種で、縄文時代の貝塚からはニホンジカと並んで多数発見されている。イノシシは、ブタの先祖であり、そのブタは、約11,000年前に中国で家畜化され、約2,000年前の弥生時代に日本へ持ち込まれたと推定されている（田名部、1995）。しかしながら、イノシシとブタの区別は難しいとされており、弥生時代にブタが存在したかどうかが論争になっている。

ニホンイノシシの出土例は、9遺跡あり、新保遺跡（金子、1986）・三ッ寺I遺跡（宮崎、1988a）・上野国分僧寺尼寺中間地域遺跡（大江他、1990）・新保田中村前遺跡（宮崎他、1993；金子、1994ab）・白井二位屋遺跡（宮崎、1994a）・白井南中道遺跡（宮崎、1996a）・元総社寺田遺跡（宮崎、1996d）・小八木志志貝戸遺跡（宮崎、1999b）・上滝榎町北遺跡（齋藤、2002）から出土している。

(3) ウサギ目 LAGOMORPHA

①ニホンノウサギ [*Lepus brachyurus*]

ニホンノウサギは、固有種である。ニホンノウサギの出土例は、2遺跡のみで、上野国分寺尼寺中間地域（大江他、1990）及び白井南中道遺跡（宮崎、1996a）から出土している。

(4) 食肉目 CARNIVORA

①オオカミ [*Canis lupus*]

オオカミは、在来種であり、日本国内では1905年に絶滅したと推定されている。

オオカミの出土例は、2遺跡のみで、新保遺跡(金子、1986)及び新保田中村前遺跡(金子、1994ab)から出土している。

②イヌ [*Canis familiaris*]

イヌの祖先は、オオカミである。イヌは、約35,000年前から30,000年前に西アジアで家畜化されたと推定されている(田名部、1995)。日本では、縄文時代から多数発見されている。

イヌの出土例は、10遺跡あり、新保遺跡(金子、1986)・新保田中村前遺跡(宮崎他、1993；金子、1994b)・元総社寺田遺跡(宮崎、1993b・1996d)・田篠塚原遺跡(宮崎、1998b)・中里見原遺跡(大江、2000)・小八木志志貝戸遺跡(宮崎、2001b)・西横手遺跡群(檜崎、2002b)・元総社西川遺跡(檜崎、2003d)・石原東遺跡(檜崎、2005a)から出土している。なお、上福島中町遺跡からは、オオカミかイヌの下顎が出土しているが、近世という大型犬が輸入されている時代でもあることから、イヌ科としか同定されていない(檜崎、2003b)。

③イエネコ [*Felis catus*]

イエネコは、約4,000年前から3,500年前に北アフリカで家畜化され、日本へは1,300年前から1,200年前の平安時代に持ち込まれたと推定されている(田名部、1995)。イエネコの出土例は、わずか1遺跡のみで、西横手遺跡群から出土している(檜崎、2002b)。

④ホンドキツネ [*Vulpes vulpes japonica*]

ホンドキツネは、在来種である。ホンドキツネの出土例は、わずか1遺跡のみで、新保遺跡から出土している(金子、1986)。

⑤ホンドタヌキ [*Nyctereutes procyonoides*]

ホンドタヌキは、在来種である。ホンドタヌキの出土例は、3遺跡あり、新保遺跡(金子、1986)・新保田中村前遺跡(金子、1994b)・小八木志志貝戸遺跡(宮崎、2001b)から出土している。

⑥ツキノワグマ [*Ursus thibetanus*]

ツキノワグマは、在来種である。北海道以北にはヒグマが、本州以南にはツキノワグマが生息している。ツキノワグマの出土例は、2遺跡あり、新保遺跡(金子、1986)及び新保田中村前遺跡(金子、1994b)から出土している。

⑦ニホンイタチ [*Mustela itatsi*]

ニホンイタチは、日本固有種である。在来種のイタチと1930年頃に移入された移入種のチョウセンイタチとがいる。ニホンイタチの出土例は、わずか1遺跡のみで、西横手遺跡群から出土している(檜崎、2002b)。

⑧ニホンカワウソ [*Lutra nippon*]

カワウソは、在来種であり、かつては日本全土に分布していたが、現在ではわずかに高知県のみに生息が認められる。カワウソの出土例は、わずか1遺跡のみで、新保田中村前遺跡から出土している(金子、1994b)。

(5) 獣長目 PRIMATES

①ニホンザル [*Macaca fuscata*]

ニホンザルは、日本固有種である。青森県の下北半島から鹿児島県まで分布しており、屋久島にはニホンザルの亜種であるヤクシマザルが生息している。ニホンザルの出土例は、2遺跡あり、白井二位屋遺跡(宮崎、1994a)と新保田中村前遺跡(金子、1994b)から出土している。

謝辞

本稿をまとめにあたり、文献入手や情報提供でお世話になった大江正直氏と宮崎重雄氏に感謝いたします。また、励ましをいただいた群埋文の石守 晃氏と元群埋文の坂井 隆氏に感謝いたします。

引用文献(報告書を除く)

- 金子浩昌 1984 『貝塚の獣骨の知識』、東京美術
 金子浩昌著作目録を刊行する会編 1999 『金子浩昌著作集1』
 金子浩昌著作目録を刊行する会編 2004 『金子浩昌著作集2』
 国立歴史民俗博物館編 1991 『国立歴史民俗博物館研究報告: 共同研究動物考古学の基礎的研究』、第29集
 国立歴史民俗博物館編 1992 『国立歴史民俗博物館研究報告: 共同研究動物考古学の基礎的研究(続)』、第42集
 坂井 隆 2004 馬生贊祭祀遺構と「捏造」問題、「研究紀要」、22号、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
 田名部雄一 1995 「11. 家畜と人間の歴史」『講座文明と環境第8巻 動物と文明』(河合雅雄・埴原和郎編)、朝倉書店
 直良信夫 1965 『日本産狼の研究』、校倉書房
 直良信夫 1972 『古代遺跡発掘の脊椎動物遺体』、校倉書房
 直良信夫 1973 『古代遺跡発掘の家畜遺体』、日本中央競馬会弘済会
 直良信夫 1984 『日本馬の考古学的研究』、校倉書房
 西本豊弘・松井 章編 1999 『考古学と自然科学②: 考古学と動物学』、同成社

No.	群組文書号	報告書名	出土歴及び足跡報告名	報告者名	出版年	頁	時代
1	第10集	日高遺跡	12. 日高遺跡出土の鹿角・骨とそれを置換している黒鍬歯について 13. 日高遺跡出土の馬歯・馬骨	宮崎正直・木崎喜雄	1982年	394-397	弥生時代・平安時代 古墳時代・平安時代
2	第13集	三ツ寺川遺跡・保渡田遺跡・中里天神塚古墳	14. 日高遺跡出土の牛足跡について 15. 新保田遺跡2号土所遺跡出土の馬歯・馬骨について	大江正直	1983年 a	398-417	平安時代
3	第16集	佐野川跡	16. 新保田遺跡2号土所遺跡出土の馬歯・馬骨について	大江正直	1983年 b	418-421	平安時代
4	第18集	下佐野川跡	17. 新保田遺跡2号土所遺跡出土の馬歯・馬骨について	大江正直	1983年	557-568	平安時代
5	第25集	下佐野川跡	18. 新保田遺跡2号土所遺跡出土の馬歯・馬骨について	大江正直	1986年	108-148	弥生時代・古墳時代
6	第267集	三ツ寺川遺跡	19. 新保田遺跡2号土所遺跡出土の馬歯・馬骨について	宮崎正直	1986年	252-256	弥生時代・古墳時代
7	第22集	田端遺跡	20. 新保田遺跡2号土所遺跡出土の馬歯・馬骨について	宮崎正直	1987年	916-931	奈良時代・室町時代
8	第73集	事下ト音寺川遺跡・下大塚遺跡・上原天神塚古墳	21. 新保田遺跡2号土所遺跡出土の馬歯・馬骨について	宮崎正直	1988年 a	264-282	室町時代(6世紀初頭)
9	第88集	一要奈遺跡	22. 新保田遺跡2号土所遺跡出土の馬歯・馬骨について	宮崎正直	1988年 b	183-215	室町時代(6世紀)
10	第93集	三ツ寺II遺跡	23. 新保田遺跡2号土所遺跡出土の馬歯・馬骨について	宮崎正直	1988年 c	655-673	室町時代(6世紀)
11	第100集	飛野堂遺跡(2)	24. 新保田遺跡2号土所遺跡出土の馬歯・馬骨について	宮崎正直	1989年 a	251-270	室町時代(6世紀)
12	第103集	上野国分寺・尼寺中間地域(4)	25. 新保田遺跡2号土所遺跡出土の馬歯・馬骨について	宮崎正直	1990年 a	138-156	室町時代(9世紀)
13	第104集	国分寺遺跡	26. 新保田遺跡2号土所遺跡出土の馬歯・馬骨について	宮崎正直	1990年	707-738	古墳時代～近代
14	第116集	国分寺遺跡	27. 新保田遺跡2号土所遺跡出土の馬歯・馬骨について	宮崎正直	1990年	737-751	古墳時代～平安時代
15	第118集	神奈寺遺跡	28. 新保田遺跡2号土所遺跡出土の馬歯・馬骨について	宮崎正直	1990年	752-766	古墳時代～平安時代
16	第38集	内近下野前遺跡	29. 新保田遺跡2号土所遺跡出土の馬歯・馬骨について	宮崎正直	1990年	767-781	古墳時代～平安時代
17	第47集	下川田下原遺跡	30. 新保田遺跡2号土所遺跡出土の馬歯・馬骨について	宮崎正直	1990年	782-796	古墳時代～平安時代
18	第150集	白井大宮遺跡	31. 新保田遺跡2号土所遺跡出土の馬歯・馬骨について	宮崎正直	1993年 b	66-88	古墳時代
19	第151集	新保田中村前遺跡III	32. 新保田中村前遺跡の歯骨	小島敦子・相原健史・	1993年	163-174	弥生時代
20	第154集	神保富士塚遺跡	33. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1993年 c	191-194	平安時代以降
21	第155集	南都方御光寺下原遺跡II	34. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1993年 d	195-198	平安時代
22	第156集	元経寺遺跡	35. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1993年 e	222-225	平安時代
23	第160集	白井遺跡群集落編I(白井二三位跡)	36. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1994年 a	290-297	平安時代
24	第163集	二之宮宮下東遺跡	37. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1994年 b	327-330	平安時代
25	第164集	二之宮宮下東遺跡	38. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1994年 c	6-65	平安時代
26	第176集	新保田中村前遺跡IV	39. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	金子浩昌	1994年 a	14世紀	平安時代
27	第183集	行力春名ね遺跡	40. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1994年 b	66-156	平安時代
28	第186集	下田中村前遺跡・下田中久保遺跡	41. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1994年 c	234-254	平安時代
29	第189集	二之宮宮下西遺跡	42. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1995年 b	14世紀	平安時代
30	第190集	安養寺義正山遺跡・大館馬場遺跡・西久保宮内遺跡	43. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1995年 a	401-402	平安時代
31	第191集	猪田古市前I・II遺跡	44. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1995年 a	423-430	奈良時代～近世
32	第192集	小魚田前I・II遺跡	45. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1995年 b	51-66	9世紀～10世紀
33	第200集	中江田ハツ組遺跡	46. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1995年 b	244-245	8世紀
34	第202集	白井遺跡群集落編II(白井南山遺跡)	47. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1995年 b	411-417	7世紀～9世紀
35	第205集	上井家寺前遺跡群III	48. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1995年 b	493-495	近世
36	第207集	自能寺山遺跡・吹屋天子寺遺跡・吹屋天子寺遺跡	49. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1996年 c	358-369	古墳時代
37	第208集	元経寺寺田前遺跡	50. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1996年 d	234-249	奈良・平安時代
38	第213集	多比良遺跡	51. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1997年 a	168-169	奈良・平安時代
39	第216集	矢田遺跡	52. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	井上直樹・宮崎直雄	1997年 a	439-442	古墳時代
40	第219集	白井遺跡群古跡群	53. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1997年 b	143-145	近世
41	第222集	日倉下原・天弓向原遺跡V	54. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1997年 b	171-175	4世紀～5世紀
42	第228集	西長岡南遺跡	55. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1998年 a	207	中世～近世
43	第234集	御布品遺跡・御布品遺跡・御布品遺跡	56. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1998年 a	152-153	中世～近世
44	第235集	中井下井遺跡	57. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1998年 b	367-376	古墳時代～時代不明
45	第244集	田篠原寺前遺跡・福島町前遺跡	58. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	1999年 a	449-452	近世
46	第254集	和田山天神前遺跡	59. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	2000年 b	181-192	古墳時代
47	第256集	小八木志見貝戸遺跡群I	60. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	2001年 b	91-94	近世
48	第262集	高近下原遺跡・神戸岩下遺跡	61. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	2002年 a	1016-1019	平安時代～近世
49	第271集	中里貝戸遺跡	62. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	2002年 b	420-427	近世
50	第272集	小八木志見貝戸2	63. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	2003年 a	122-123	中世～近世
51	第273集	小八木志見貝戸3	64. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	2003年 a	174-177	中世～近世
52	第288集	元経寺西山遺跡	65. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	2003年 c	172-175	古墳時代
53	第290集	上池根町前遺跡	66. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	2004年 d	350-362	中世～近世
54	第294集	鶴見手二井遺跡・西横山遺跡	67. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	2004年 e	229-230	中世～近世
55	第310集	下鶴島中町跡	68. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	2005年 a	333-334	中世～近世
56	第312集	音合石塚遺跡	69. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	2005年 b	320	中世～近世
57	第313集	音合石塚遺跡	70. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	2005年 c	42	近世
58	第318集	音合石塚遺跡	71. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	2006年		
59	第320集	元経寺西山遺跡	72. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	2006年		
60	第323集	五郎島中町跡	73. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	2006年		
61	第336集	五郎島中町跡II	74. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	2006年		
62	第340集	坂田村中町原遺跡	75. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	2006年		
63	第347集	坂田村中町原(0区)遺跡・引田松葉塚	76. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	2006年		
64	第349集	久々戸遺跡(2)・中町II遺跡	77. 新保田中村前遺跡出土の馬歯・牛歯について	宮崎正直	2006年		

No.	群理文番号	報告書名	足跡	奇蹄目	偶蹄目	ウシ(牛)	ニホンジカ	ニホンシイノシシ	ウサギ	オオカミ	イヌ	ネコ	キツネ	タヌキ	ツキノワグマ	イタチ	カワウソ	ニホンザル
1	第10集	日高遺跡	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2	第13集	三ツ寺川遺跡・保渡田遺跡・中里天神塚古墳	○(ウシ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	第16集	新保遺跡	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	第48集	佐野九郎跡	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	第58集	下東寺跡	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	第67集	三ツ寺道跡	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	第72集	田端遺跡	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	第73集	喜上・須作寺跡・喜上原之坂遺跡・喜上原田遺跡	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	第88集	上要須跡・下大塚遺跡・中大塚遺跡	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	第93集	三ツ寺II遺跡	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	第100集	熊野堂遺跡(2)	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	第103集	上野国分僧寺・尼寺中間地域(4)	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	第104集	国分境遺跡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	第16集	有馬条里遺跡II	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	第18集	勝頃寺跡	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	第33集	内庄鹿跡・馬跡・内原日影周辺遺跡	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	第47集	下川田下原遺跡・下川田牛井遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	第163集	白井大宮遺跡	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	第151集	新保田中村前遺跡III	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	第15集	神保富士寺跡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	第155集	南蛇井跡方平遺跡II	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	第156集	万參社・寺田遺跡I	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	第160集	白井遺跡群・集落編I(白井二位遺跡)	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	第163集	二之宮富良遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	第164集	二之宮富良遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	第176集	新保田中村前遺跡IV	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	第183集	行力春名社遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	第186集	下田中中山道遺跡・下田中川久保遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	第189集	二之宮富良遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	第190集	安養寺森西遺跡・大鏡馬場遺跡・阿久池宮古遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	第191集	猪田古市西前I・II遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	第192集	小角田前I・II遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	第200集	中江田前I・II遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	第202集	白井遺跡群・集落編II(白井南中道遺跡)	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	第205集	上原遺跡前山遺跡III	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	第207集	白井牛井山遺跡I・II・III	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	第208集	万參社・寺田遺跡III	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	第213集	多比良寺・田道跡II	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	第216集	久田遺跡VII	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	第219集	白井遺跡群・古墳時代	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	第222集	白倉・南原遺跡・天弓向原遺跡V	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	第228集	西長崎南遺跡II・III	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	第234集	白山日出遺跡・御前品遺跡・御前月日出遺跡・西下出遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	第235集	白井遺跡群・中世・近世編	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	第244集	田篠原遺跡II・福島馬形山遺跡・福島馬頭山遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	第254集	和田山天神前遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	第256集	小八木志賀戸遺跡群1	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	第262集	萬沢向原遺跡・神戸宮山遺跡・神戸岩下遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	第271集	中里貝遺跡群	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	第272集	小八木志賀戸2	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	第275集	小八木志賀戸3	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	第288集	元絆社西山遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	第290集	上流御町北遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	第294集	鶴光路復舊跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	第293集	菅横手三遊山遺跡・西横手遺跡群	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	第312集	首谷石塚遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	第313集	首谷石塚遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	第318集	上福島中町遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	第320集	福島中町遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	第323集	元絆社西山遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	第336集	万歳田遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	第340集	白石東遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	第347集	冢田山中原(1)遺跡	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	第349集	久々戸遺跡(2)	○(ウマ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

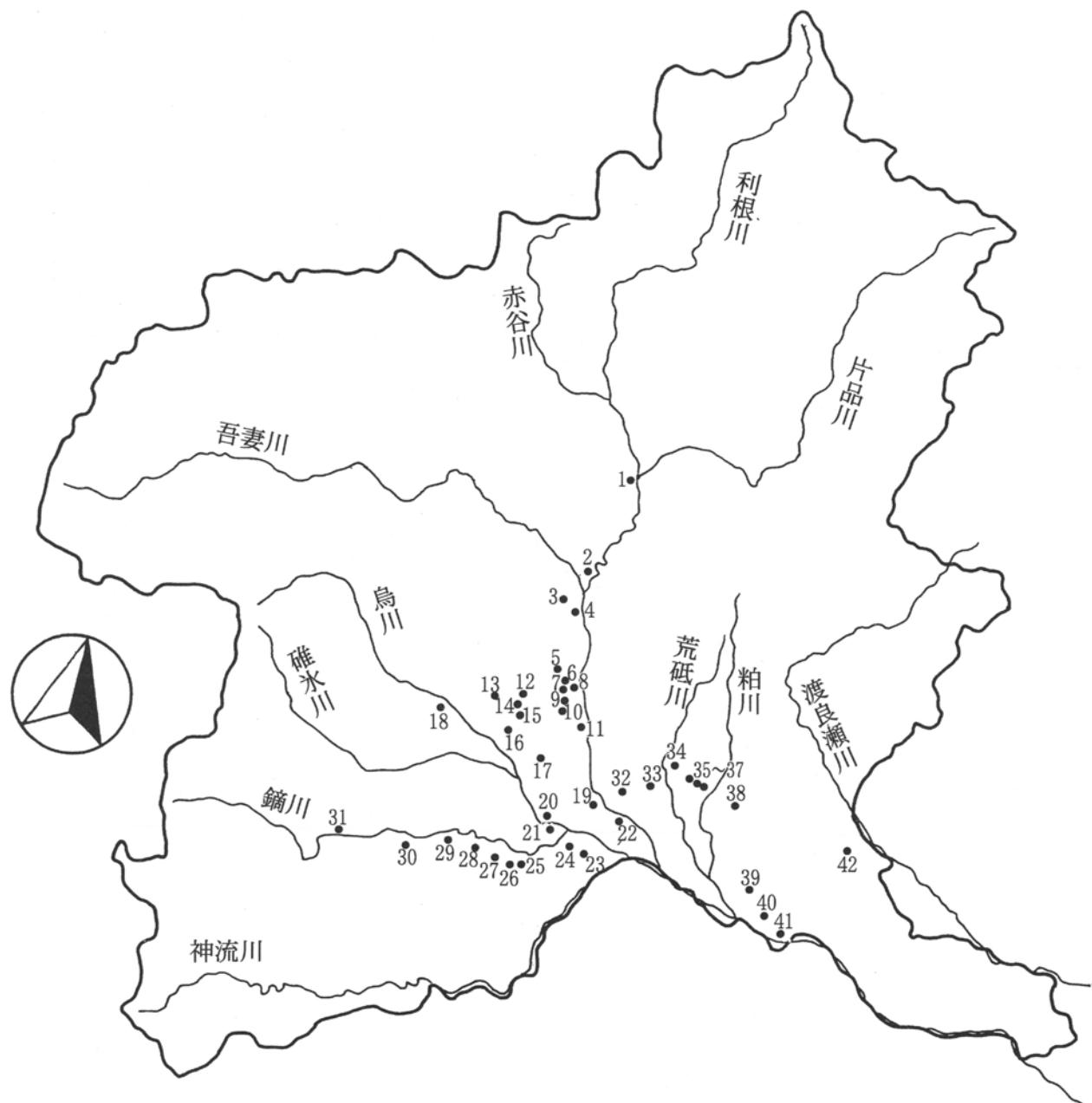
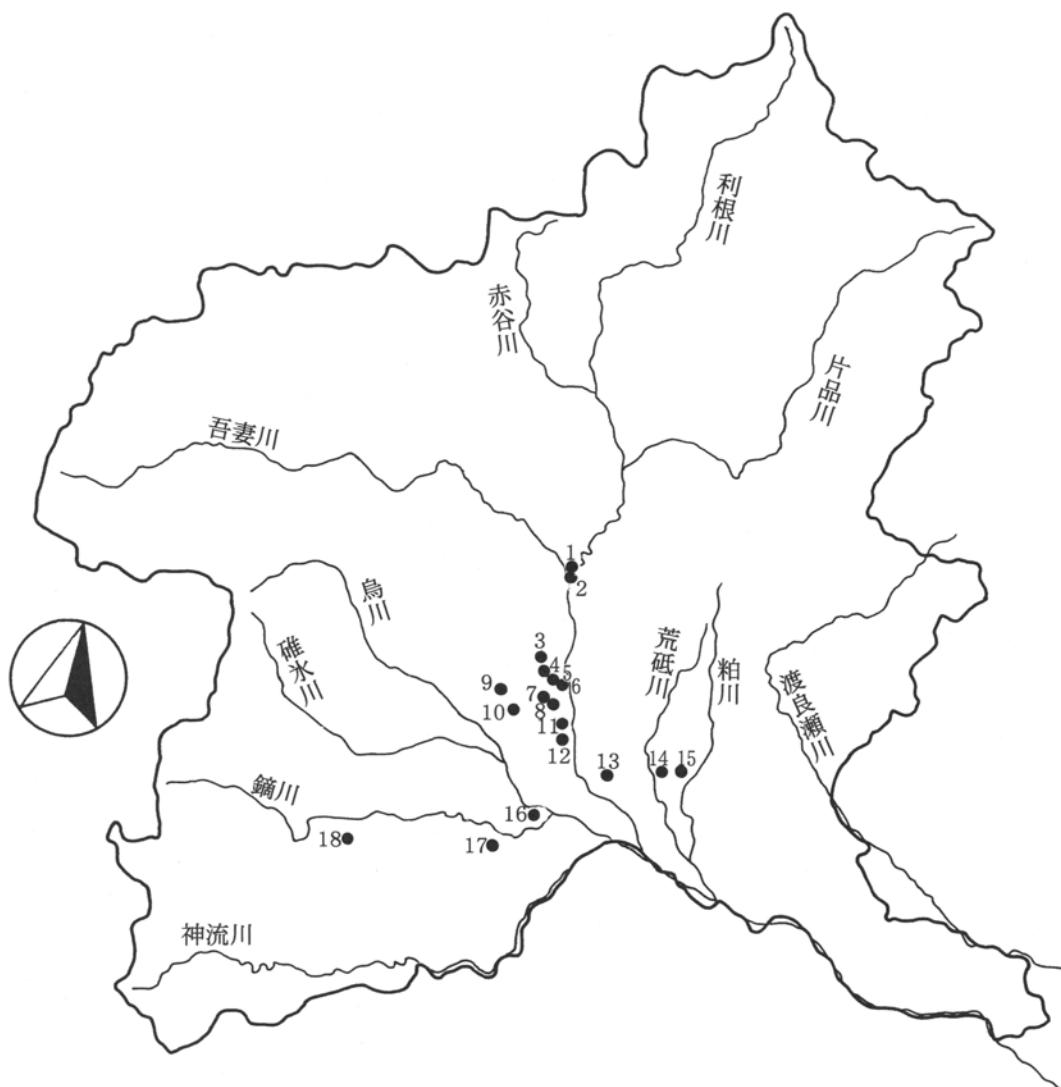


図1 ウマ（馬）の出土地図

No.	群埋文番号	報 告 書 名	報 告 者 名	出版年	頁	時 代	足 跡	奇蹄目 ウマ(馬)
11	第10集	日高遺跡	大江正直	1982年 a	398-417	古墳時代・平安時代	×	○
12	第43集	三ツ寺III遺跡・保渡田遺跡・中里天神塚古墳	大江正直	1985年	557-568	中世	×	○
20	第48集	下佐野遺跡	宮崎重雄	1986年	252-256	近世・近代	×	○
5	第58集	下東西遺跡	大江正直	1987年	916-931	奈良時代～室町時代	×	○
12	第67集	三ツ寺 I 遺跡	宮崎重雄	1988年 a	264-282	古墳時代(6世紀初頭)	×	○
21	第72集	田端遺跡	大江正直	1988年	1183-1215	奈良時代～中世	×	○
38	第73集	書上下吉祥寺遺跡・書上上原之城遺跡・上植木毫町田遺跡	宮崎重雄	1988年 b	377-381	中世(16世紀)	×	○
23	第88集	上栗須遺跡・下大塚遺跡・中大塚遺跡	宮崎重雄	1989年 c	655-673	近世	×	○
12	第93集	三ツ寺 II 遺跡	大江正直	1991年	251-270	古墳時代～中世	×	○
14	第100集	熊野堂遺跡(2)	宮崎重雄	1991年 a	138-156	平安時代(9世紀)	×	○
7	第103集	上野国分僧寺・尼寺中間地域(4)	大江正直・木津博明・ 桜岡正信・友廣哲也	1990年	707-938	古墳時代～近代	×	○
6	第104集	国分境遺跡	大江正直	1990年	466	古墳時代～平安時代	×	○
4	第116集	有馬条里遺跡II	宮崎重雄	1991年 b	396-401	古代～近世	×	○
17	第118集	融通寺遺跡	宮崎重雄	1991年 c	721-723	平安時代～戦国時代	×	○
30	第138集	内匠諏訪前遺跡・内匠日影周池遺跡	宮崎重雄	1992年	245	中世～近世?	×	○
1	第147集	下川田下原遺跡・下川田平井遺跡	宮崎重雄	1993年 a	295-298	近世	×	○
2	第150集	白井大宮遺跡	宮崎重雄	1993年 b	66-68	古墳時代	○(ウマ)	×
27	第154集	神保富士塚遺跡	宮崎重雄	1993年 c	491-494	平安時代以降	×	○
31	第155集	南蛇井増光寺遺跡II	宮崎重雄	1993年 d	154-156	近世	×	○
9	第156集	元總社寺田遺跡I	宮崎重雄	1993年 e	222-225	古墳時代～近世	×	○
2	第160集	白井遺跡群 集落編I(白井二位屋遺跡)	宮崎重雄	1994年 a	290-297	7世紀～10世紀	×	○
36	第163集	二之宮宮下東遺跡	宮崎重雄	1994年 b	327-330	6世紀～14世紀	×	○
37	第164集	二之宮宮東遺跡	宮崎重雄	1994年 c	254	中世・近世	×	○
16	第183集	行力春名社遺跡	宮崎重雄	1994年 d	175-180	14世紀～16世紀	×	○
39	第186集	下田中中道遺跡・下田中川久保遺跡	大江正直	1995年	163-180	平安時代(9世紀)	×	○
35	第189集	二之宮宮下西遺跡	宮崎重雄	1994年 e	449-452	近世	×	○
41	第190集	安養寺森西遺跡・大館馬場遺跡・阿久津宮内遺跡	宮崎重雄	1995年 a	401-402	中世	×	○
40	第192集	小角田前I・II遺跡	大江正直	1995年 b	51-66	9世紀～10世紀	×	○
40	第200集	中江田八ヶ郷遺跡	宮崎重雄	1995年 b	244-245	8世紀代	×	○
2	第202集	白井遺跡群 集落編II(白井南中道遺跡)	宮崎重雄	1996年 a	411-417	7世紀～9世紀	×	○
24	第205集	上栗須寺前遺跡群III	宮崎重雄	1996年 b	493-495	近世	×	○
2	第207集	白井北中道II遺跡・吹屋犬子塚遺跡・吹屋中原遺跡	宮崎重雄	1996年 c	358-369	古墳時代	○(ウマ)	×
9	第208集	元總社寺田遺跡III	宮崎重雄	1996年 d	234-249	奈良・平安時代～近世	×	○
25	第213集	多比良追部野遺跡	石守 晃	1997年	853	奈良・平安時代	×	○
26	第216集	矢田遺跡VIII	宮崎重雄	1997年 a	168-169	近世	×	○
2	第219集	白井遺跡群 古墳時代編	井上昌美・宮崎重雄	1997年	439-442	古墳時代	○(ウマ)	×
28	第222集	白倉下原・天引向原遺跡V	宮崎重雄	1997年 b	143-145	近世	×	○
42	第228集	西長岡南遺跡II・III	大江正直	1997年	172-175	4世紀～5世紀	○(ウマ)	×
16	第234集	芦田貝戸遺跡・御布呂遺跡・餅井貝戸遺跡・西下井出遺跡	大江正直	1998年	207	中世～近世	×	○
2	第235集	白井遺跡群 中世・近世編	宮崎重雄	1998年 a	152-153	中世～近世	×	○
29	第244集	田篠塚原遺跡・福島駒形遺跡・福島鹿嶋下遺跡	宮崎重雄	1998年 b	367-376	古墳時代～時代不明	×	○
13	第254集	和田山天神前遺跡	宮崎重雄	1999年 a	449-452	中世～近世	×	○
10	第256集	小八木志志貝戸遺跡群1	宮崎重雄	1999年 b	98-99	弥生時代	×	○
18	第271集	中里見遺跡群	大江正直	2000年 c	170-220	近世～近代	×	○
10	第272集	小八木志志貝戸2	宮崎重雄	2001年 a	142-149	古墳時代	×	○
7	第288集	元總社西川遺跡	楳崎修一郎	2001年	91-94	中世～近世	×	○
19	第290集	上滝櫻町北遺跡	斎藤英敏	2002年	1016	古墳時代～近世	×	○
32	第294集	鶴光路櫻橋遺跡	楳崎修一郎	2002年 a	192-197	奈良平安時代～中近世	×	○
22	第310集	宿横手三波川遺跡・西横手遺跡群	楳崎修一郎	2002年 b	420-427	近世	×	○
33	第312集	下増田越渡遺跡	宮崎重雄	2003年	122-123	近世	×	○
15	第313集	菅谷石塚遺跡	楳崎修一郎	2003年 a	174-177	中世以降	×	○
8	第320集	稻荷塚道東遺跡	楳崎修一郎	2003年 c	172-175	古墳時代～近世	×	○
7	第323集	元總社西川遺跡・塚田中原遺跡	楳崎修一郎	2003年 d	360-362	中近世	×	○
34	第336集	荒砥宮田遺跡II	楳崎修一郎	2004年	229-230	近世以降	×	○
3	第340集	石原東遺跡	楳崎修一郎	2005年 a	333-334	中世・近世	×	○
7	第347集	塚田村東IV遺跡・塚田中原(0区)遺跡・引間松葉遺跡	楳崎修一郎	2005年 b	320	8世紀～中近世	×	○

註: Noは、地図上の番号に符号する。



No	群理文番号	報 告 書 名	報 告 者 名	出版年	頁	時 代	足跡	個體目 ウシ(牛)
12	第10集	日高遺跡	大江正直	1982年b	418-421	平安時代・中世	○(ウシ)	○
3	第58集	下東西遺跡	大江正直	1987年	916-931	奈良時代～室町時代	×	○
9	第67集	三ツ寺 I 遺跡	宮崎重雄	1988年a	264-282	古墳時代(6世紀初頭)	×	○
16	第72集	田端遺跡	大江正直	1988年	1183-1215	奈良時代～中世	×	○
9	第93集	三ツ寺 II 遺跡	大江正直	1991年	251-270	古墳時代～中世	×	○
10	第100集	熊野堂遺跡(2)	宮崎重雄	1991年a	138-156	平安時代(9世紀)	×	○
5	第103集	上野国分寺・尼寺中間地域(4)	大江正直・木津博明・ 桜岡正信・友廣哲也	1990年	707-938	古墳時代～近代	×	○
4	第104集	国分境遺跡	大江正直	1990年	466	古墳時代～平安時代	×	○
11	第156集	元總社寺田遺跡I	宮崎重雄	1993年e	222-225	古墳時代～近世	×	○
2	第160集	白井遺跡群 集落編I(白井二位屋遺跡)	宮崎重雄	1994年a	290-297	7世紀～10世紀	×	○
15	第163集	二之宮宮下東遺跡	宮崎重雄	1994年b	327-330	6世紀～14世紀	×	○
8	第176集	新保田中村前遺跡IV	金子浩昌	1994年b	66-156	弥生時代	×	○
6	第191集	箱田古市前I・II遺跡	大江正直	1995年a	123-130	奈良時代～近代	×	○
14	第192集	小角田前I・II遺跡	大江正直	1995年b	51-66	9世紀～10世紀	×	○
1	第202集	白井遺跡群 集落編II(白井南中道遺跡)	宮崎重雄	1996年a	411-417	7世紀～9世紀	×	○
11	第208集	元總社寺田遺跡III	宮崎重雄	1996年d	234-249	奈良・平安時代～近世	○(ウシ)	×
17	第216集	矢田遺跡VIII	宮崎重雄	1997年a	168-169	近世	×	○
18	第244集	田篠塚原遺跡・福島駒形遺跡・福島鹿嶋下遺跡	宮崎重雄	1998年b	367-376	古墳時代～時代不明	×	○
7	第272集	小八木志志貝戸2	宮崎重雄	2001年a	142-149	古墳時代	×	○
7	第275集	小八木志志貝戸3	宮崎重雄	2001年b	181-192	近代	×	○
13	第294集	鶴光路榎橋遺跡	檜崎修一郎	2002年a	192-197	奈良平安時代～中近世	×	○

註: Naは、地図上の番号に符号する。

図2 ウシ(牛)の出土地図